

# 令和7年度第2回（第7回）山添村義務教育学校設立推進委員会 概要

令和7年11月4日（火）  
18時00分～19時30分  
山添村役場 中会議室

## 1 開会

- ・開会挨拶 委員長 大矢 慎吾

本年度2回目の推進委員会となる。建設工事も無事に着工された。本日は制服や校章、校歌について協議を進めていく。事務局からの説明をしっかりと聞き、議論を進めていきたい。

## 2 委員の委嘱について

- ・南克典（議員代表） → 徳谷嘉三（議員代表）  
※欠席委員（植田委員）

## 3 協議事項

### （1）山添村立山添小中学校（仮称）の制服等について

事務局	<b>【事務局から資料に沿って説明】</b> ○保護者アンケート実施（令和7年3月）の結果概要 →「現行のまま」を希望するが50%あった。 →「自由服の方が時代にあっている。」との意見。 →「高価になるのでリーズナブルな価格設定を希望する」との意見。 →「性差にこだわらない多様性への対応」を望む意見。 →「セーター等の調整も自主性に任せてほしい」との意見。 ○やまぞえ小学校及び山添中学校の制服の値段等の現状 ○他地区（伊賀市・王寺町・下市町）の制服の値段等の現状
堺委員	<b>【堺委員からWG等における協議内容を説明】</b> ○新しい制服の制定についての議論 →他地域の様子を調べてみたが、金額が高額になることは否めない。物価高騰に伴い、来年度より値上げを予定されている地域もあった。山添村においては児童・生徒が少人数となるので、新しい制服になった場合の1着あたりの単価が高くなることを懸念した。 →新しい制服の制定については断念した。 ○完全自由服についての議論 →過度な競争に対する懸念 →ネグレクト等に対する懸念 →一定の制限は必要である。 ○結論（小学校・中学校の全教職員が了承） →現在の服装規定に一定の幅をもたせた新しい規定を設ける方向とする。 →新しい規定については、令和8年度から実施していく。 →11月6日（木）に就学時検診が実施される。例年であれば、その際に制服の採寸及び注文が行われるが、今年度は、令和8年2月に実施を予定している入学説明会の時に購入を希望される方の採寸・注文を業者が行う予

	<p>定で進めている。(制服の販売業者との確認済み) によって、就学時検診の際には新年度入学を予定している児童の保護者に対しては、制服等について話し合った経緯を学校から説明する。</p> <p>→細かい内容については、もう少しWGでの協議が必要になる。2月の入学説明会までには、学校から保護者へ説明できるようにする。</p> <p>→新しい服装規定を設けても現行の制服を着続けられるようにする。</p> <p>【質疑・応答・意見】</p>
井岡委員	<p>学校から一定の説明ができるようになってからPTAで話し合う場を設定してもらえるか。一旦、決めた内容を検証する期間を設けてもらいたい。</p>
委員長	<p>最終決定は、推進委員会ではなく学校と保護者が主体となって決めていく方向でも良いか。</p>
事務局	<p>基本的に制服の規定については学校が定めるものであると認識している。保護者の意見をふまえながら、学校が規定したことを保護者に対して説明する責任がある。制服等の決定については、本推進委員会委員の同意を得られるならば、学校と保護者が主体となって決めていく方向で良いと考える。</p>
井岡委員	<p>新しい規定の部分を示してもらえれば、評価・検討して改善していくのは学校と保護者が主体となって決めていけると考える。</p>
川畑委員	<p>学校と保護者（生徒・児童）が主体となって決めていくことに同意する。</p> <p>【各委員からの反対無し】</p>

(2) 山添村立山添小中学校（仮称）の校章について

事務局	<p>【事務局から資料に沿って説明】</p> <p>○小学校・中学校の児童生徒からデザイン案を募集（夏休み期間）</p> <p>→85点の応募</p> <p>→9月のワーキンググループ会議で15点に絞る。</p> <p>→3人の専門家からアドバイスを受ける。</p> <p>→10月のワーキンググループ会議で特徴的なデザインの3点に絞る。</p> <p>○11月のワーキンググループ会議で専門家から数点の児童生徒のデザイン案を基にしたデザインの提案を受け、検討を続けていく。</p> <p>【質疑・応答・意見】</p>
岡田委員	<p>どのように決定していくのか。</p>
事務局	<p>ワーキンググループ会議で選定したものを推進委員会で提案する。</p>
池住委員	<p>子どもたちからのデザイン案を見ると、一人ひとりの子どもからデザインに込めた思いが伝わってくる。お茶のこと、山つつじの花言葉など、校章に</p>

	自分の思いを込めてくれていることをうれしく感じる。すべての思いを受け取ることはできないかもしれないが、子どもたちの思いを大事に選定して欲しい。
--	---

(3) 山添村立山添小中学校（仮称）の校歌について

事務局	<p>【事務局から資料に沿って説明】</p> <p>○歌詞 →やまぞえ小学校と山添中学校の校歌をベースにワーキンググループ会議において原案を考えた。 →国語科の専門家（奈良教育大学特任教授）からアドバイスを受ける。（川畑委員の協力） →原案が完成。</p> <p>○作曲 →宮下俊也氏（奈良教育大学学長）に依頼。（橿原市立白檀小学校、五條市立西吉野農業高等学校、奈良県立大学付属高等学校の校歌を作曲） →年内に歌詞の原案を届ける。 →作曲が完成すれば、奈良教育大学の学生の協力を得て、デモテープを作成し送っていただく予定。</p>
川畑委員	<p>【質疑・応答・意見】</p> <p>事務局の説明を補足する。小学校の校歌は口語体、中学校の校歌は文語体となっている。二つを合わせるだけでは歌詞としての据わりが悪くなる。そこで国語の専門家に意見を伺った。専門家の意見としては、文語体で格調高くいく方が良いとのアドバイスをいただいた。9年間の義務教育課程を通して少しずつ歌詞の思いをかみしめていけば良いと考えている。</p>
池住委員	<p>作詞者はどのように表記するのか。</p>
事務局	<p>標記の仕方については、ワーキンググループ会議で検討する。</p>
井岡委員	<p>1番から3番までどのような思いが込められているのか。</p>
堺委員	<p>1番から3番までのそれぞれにテーマをもたせている。1番は「山添らしさ」を表現しながら、子どもたちに「自分らしさ」を大事にしてほしいという思いを込めている。2番は「水の流れ」を表現し、山からの細い水の流れがどんどん集まり1つの大きな川になっていく。子どもたちには、そのような「つながり」を大切にしてほしいという願いを込めている。3番は「山添村の歴史」を表現し、先達の思いを受け継ぎ、未来を切り拓いていくことを決意するという流れになっている。</p>
委員長	<p>歌詞の原案を本推進委員会で承認し、作曲を依頼する方向でよろしいか。</p>
各委員	<p>【承認】</p>

(4) その他

事務局	<b>【事務局から建設工事に関わる報告】</b> ○校舎の床について →設計段階で地面から水が浮かないようにと考え、設計計画を進めていたが、施工業者の見立てでは、壁やガラスからの露が滴っているとのことだったので、水が浮いてきても滑らない加工をした床材を使用する方向で工事を進めようと検討している。
-----	--

4 その他

- 本日の協議内容については、次回の教育委員会及び村議会にて報告する。
- 山添村ホームページにおいても情報発信に努めていく。
- 次回の推進委員会は令和8年1月中旬頃に開催を予定。改めて日程調整をお願いする。